



# きずな

SENBI

2022年1月

第2201号

## 《新年を迎えて》

代表取締役社長 中田義秀



新年明けましておめでとうございます。

お蔭をもちまして、当社は昨年4月に創立40周年を迎えることができました。これも偏に皆様のご尽力の賜物と深く感謝しております。

さらに、売り上げにつきましても計画を超える数字を計上できました。改めてお礼を申し上げます。

第41期も既に3/4が過ぎ、仕上げの期に入りました。現時点では計画通りの実績となっていますが、残す3か月でさらなる数字を積み上げていただくようお願いします。

さて、昨年末から新型コロナウイルス感染の減少と相まって、人の流れも徐々ではありますが活動範囲の広がりを見せ、併せて経済界においても明るい兆しが見得つつありましたが、年末には新たな変異株であるオミクロン株の市中感染が発生し、またも感染拡大が危惧される状況となりました。このような状態は、今後も繰り返していくものと考えられます。

会社としても、コロナ禍によって攻めの業務拡大が厳しいこの時期こそ、しっかり足元を見つめ、体幹を整えて基礎体力と柔軟性を備え、如何なる業務にもしっかり対応できる会社として成長する必要があると考えています。

そのためにも、皆様一人一人にスキルアップに繋がる各種の資格取得や情報収集力・分析力を身に付けていただき、会社としての底上げを高めていくことが必要と考えていますので一層のご協力をお願いします。

そうした努力が、当社が基本方針とする「お客様に必要とされる会社」として更なる飛躍を遂げ、来る50周年へ向けての道導になれると信じています。

株式会社センビの代表者として、新年を迎えての所信の一端を述べさせていただきました。

まだまだコロナ禍の中にあって行動も制限される厳しい日常生活ではありますが、皆様におかれましては、健やかでござ幸な年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつとします。



## 新しい年に向けて



呉営業所  
所長 齋藤敦則



新年あけましておめでとうございます。

昨年度も皆様のおかげで大きなトラブルもなく、無事に業務を遂行することができました。

本当にありがとうございました。

何より嬉しかったのは、呉営業所の評判をお聞きになった方々から、新規取引を依頼され顧客数が増加したことです。

今年も固定概念にとらわれず、積極的にトライしていく所存です。



東山口営業所  
所長 本田健一



明けましておめでとうございます。

昨年、労災事故はありませんでしたが、使用で車両を運転中に交通人傷事故が1件発生しました。

また、大病で3名の方が入院され、一部の人は療養中です。

健康管理ができていたら、「大病にならなかった。」という話を聞いたことはありませんか。

喫煙・暴飲暴食・運動不足と、結局は自分に返って来ると思います。

お医者さんは治療してくれるだけで、自分の体は誰も助けてくれません。最終的には己の力で持ち直すしかなく、大病になって、リハビリは大変で元の体に帰れないことも多いにあると思います。

今年は、一度しかない人生、一番に健康管理に努めて、それぞれの分野でプロヘッショなるに挑戦しませんか。



三次営業所  
所長 平田 勇



新年明けましておめでとうございます。  
三次営業所も昨年は3人体制となり新たな基盤づくりとして取組む中で社会的にも現場も色々と対応が求められた一年となりました。

改めて振り返ってみると取り組みとしては先送りしたものもあり、自分自身もコロナ対策等で環境の変化にも大きく左右され緊張感を感じる一年になりました。そんな一年を振り返って今年の抱負としては「基盤づくりの年」として各現場の管理・教育等を元から立て直して行こうと思っております。

そして自分自身が思った事は、はっきりと自分の言葉で伝えていけるよう努力していこうと思っております。

又、従業員とのコミュニケーションも大事にし、業務を遂行できるよう努力してまいります。

これからも三次営業所従業員一同 頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



東広島営業所  
所長代理 大岡章三



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、コロナ過で大変な年となりました。

当営業所の警備員は、地域の拠点となる病院に勤務していることから、医療従事者として全員が、早くも12月中に、第3回目のワクチン接種を終了しています。

現在、県内外の感染者は激減していますが、変異株「オミクロン株」が日本にも上陸し、いまだ、先行きの不透明な状況です。

このような状況下、東広島営業所が、力を合わせ売り上げ目標に向かって仕事を進めて、「健康、安全衛生にしっかり配慮し、感染者、負傷者やヒヤリハットの無い年」を合言葉に邁進したい、と思います。

どうか、暖かく力強い、ご助力・ご支援をお願い申し上げます。



## 安全衛生委員会結果

直近に開催された「安全衛生委員会」の結果を報告します。今後もコロナ禍の対応として「書面会議」が主体となりますが、結果については「きずな」の紙面でお知らせします。

### 《第15回安全衛生委員会》

- ◇ 開催月日 令和3年8月（書面会議）
- ◇ 主な審議結果
  - 秋の全国交通安全運動の実施について交通安全運転について周知
  - ヒヤリハット報告
  - 産業医からのコメント  
デルタ株の性質について



### 《第16回安全衛生委員会》

- ◇ 開催月日 令和3年9月（書面会議）
- ◇ 主な審議結果
  - 全国労働衛生週間について  
実施期間 10月1日～10月7日
  - ヒヤリハット報告
  - 産業医からのコメント  
ワクチン接種は、定期的になる可能性がある。

### 《第17回安全衛生委員会》

- ◇ 開催月日 令和3年10月19日
- ◇ 主な審議結果
  - 衛生管理者の確保、充実について  
今後の検討課題として承認
  - ヒヤリハット報告
  - 産業医からのコメント  
ワクチン接種の予約は早めに



### 《第18回安全衛生委員会》

- ◇ 開催月日 令和3年11月（書面会議）
- ◇ 主な審議結果
  - 年末年始無災害運動について  
無災害運動の実施を周知
  - ヒヤリハット報告
  - 産業医からのコメント  
コロナウイルスの今後の見通し（消滅することはない）
  - スタッドレスタイヤ交換について  
冬季に向けてスタッドレスタイヤ装着について周知



## 寅年

令和4年の12支は、寅です。干支でいうと「壬寅（みずのえとら）」となります。

虎のイメージどおり、寅年の人の性格は正義感が強く、逆境にあっても立ち向かう強さを持っているのが特徴といわれています。チームプレーより個人プレーを好み、持ち前のチャレンジ精神と完璧主義の性格があり、時に自慢話が過ぎる傾向を持っています。情熱的で豪快なイメージがある寅年の人ですが、繊細で傷つきやすい性格も持ち合わせています。



寅年の人でも干支によってそれぞれ性格が違います。

- 甲虎（きのえとら）（1914年、1974年）⇒勢いが良いトラ
- 丙寅（ひのえとら）（1926年、1986年）⇒寝ているトラ
- 戊虎（つちのえとら）（1936年、1998年）⇒暴れん坊のトラ
- 庚虎（かのえとら）（1950年、2010年）⇒千里を走るトラ
- 壬寅（みずのえとら）（1902年、1962年）⇒優しいトラ

また、中国の故事に欠かせないトラは、諺にも多く見られます。12支では「寅」を使うのが正解だそうですが、諺では「虎」が使われています。

### 《トラにまつわる諺》

- 虎の威を借りる狐（とらのいをかりるきつね）  
力の弱い人が有力者の権威を頼り威張ること。
- 虎の子（とらのこ）  
母親が子を大切に育てることから、大事に持ち続けている物や手放さないこと。
- 虎は千里行って千里帰る（とらはせんり行ってせんりかえる）  
虎は1日に千里を往復できるといわれることから、勢いが盛んなさま。
- 虎の尾を踏む（とらのおをふむ）  
猛獣の虎の踏むのは極めて危険なように、危ないことに手を出すこと。
- 虎視眈々（こしたんたん）  
鋭い目つきで獲物を狙う虎のように、隙を狙って機会を待つこと。
- 虎穴に入らずんば虎子を得ず（こけつにいらずんばこしをえず）  
虎の住む虎穴に入らなければ虎の子を捕まえることはできないことから、リスクを冒さなければ成功を得られないこと。



## 36協定

労働基準法で定められている「時間外労働及び休日労働に関する協定」（一般的には「36協定」と称されています。）が、昨年11月、次表の内容で締結されました。

締結された内容は、労働基準監督署へ届出し受理されましたので、協定の有効期間中（1年間）は、従業員の皆さんに次表の範囲内で時間外労働と休日労働をお願いすることが法的に可能となりました。

協定の有効期間	令和3年12月1日～令和4年11月30日（1年間）			
延長することができる時間外労働の時間数	労働させることができる休日の日数	特別の事情がある場合の時間外労働（左記の時間外労働の時間数は含まれない）		
1か月	1年	1か月	1か月	1年
45時間	360時間	2日	70時間	720時間

## 編集後記

「そうだ京都、行こう。」このキャッチフレーズによるキャンペーンは、平安遷都1200年記念事業に併せ、某社が京都の魅力を紹介するためのCMとして1993年から放映され、2016年からは「そうだ京都は、今だ。」としての新シリーズで継続放映されています。

このCMは、シンプルでありながら心に染みる言葉で京都の寺院や自然の魅力が紹介され、多くの方が京都に足を運び、自分も何時かは訪れたいと思っていました。

コロナ禍も落ち着きを取り戻してきた昨年の11月、キャンペーンで紹介された京都の魅力をこの目で確かめたい思いを現実にすることができました。

紅葉の「東福寺」、世界遺産の「仁和寺」、そして「金閣寺」「銀閣寺」はもちろん「三千院」、「東寺」、「大徳寺」、「知恩院」、「街並み」など、訪れた京都には想像を超える感動がありました。

限られた時間で訪れた寺院は多くはありませんが、それでも歴史的木造建造物の佇まいと趣、そしてスケールの大きさに只々心を奪われ、暫くは動くこともできませんでした。参拝した寺院で頂いた「御朱印」は、心の拠り所となっています。

終息傾向に向かうかの気配のあったコロナ禍でしたが、また新種のオミクロン株の市中感染が確認され、年末年始の過ごし方によっては爆発的な感染拡大も危惧されており、遠出も控えなくてはならない状況となりました。

安心して旅に出かけられる日が、一日も早く到来することを切に願っています。

